
一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

平成27年度 社員総会 議案書

日時：2015年6月13日(土) 11:00～12:45
会場：日本大学理工学部駿河台校舎 5号館2階524会議室

議事次第：

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議長等選出（議長1名、議事録署名人2名、記録者1名）

4. 議事

議案 - 1 平成26年度 事業報告

議案 - 2 平成26年度 決算報告

議案 - 3 監査報告

議案 - 4 定款の改正

議案 - 5 平成27年度、28年度推薦代議員、理事、監事の選任等

議案 - 6 平成27年度 事業計画案

議案 - 7 平成27年度 予算案

5. 報告

1) 第18回（平成27年）全国大会（柏大会）の概要

2) 第19回（平成28年）全国大会（函館大会）の概要

6. その他

7. 閉会

4. 議 事

議案-1 平成 26 年度 事業報告

1 - 1 : 常設委員会

1-1-1 総務委員会 委員長 池田 典弘

- (1) 定款・内規等の規定について、全面的な見直しを実施した。
規定類の不備等を明確にし、規定類の体系の見直しを行い、新規制定及び追加修正改定を行った。
〔規定類〕 5 規約 7 規則 策定
- (2) 総務委員会の役割について、会長・副会長・事務局と意見交換を実施。
事務局長を含め事務局の負担について、役割分担も含め調整を行った。
- (3) 学会としての後援、メールマガジンでの会員への告知申請に対する判断基準も会長承認頂くものと、事務局サイドで承認かつ会長報告で済ませるものなど意見交換を行った。
- (4) 学会HPからのマイページ運用に関する公開非公開についての確認をし、運用をスタートした。
- (5) 「名誉会長の扱い」「全国大会決算後の残金の扱い」について、内規化をした。
- (6) CiNiiに関する電子図書館事業の終了に伴う対応についてJ-STAGEに移行手続き。
- (7) 会誌購読の勧誘について、チラシを作成し各大学にお願いすることとした。

1-1-2 論文委員会 委員長 岡田 明

- (1) 学会誌掲載
- Vol. 16, No. 2 (2014年 7月 15日発行) : 原著論文 1 件
 - Vol. 16, No. 3 (2014年 11月 15日発行) : 原著論文 4 件
 - Vol. 17, No. 1 (2015年 3月 15日発行) : 原著論文 4 件
- (2) 2014 年度 査読結果
- 2014 年度投稿数： 10 件 2013 年度からの査読結果および掲載持越し： 6 件
 - 学会誌 Vol. 16-No. 2 掲載： 1 件
 - 学会誌 Vol. 16-No. 3 掲載： 4 件
 - 学会誌 Vol. 17-No. 1 掲載： 4 件 不採用： 2 件 次号掲載決定および査読中： 5 件

1-1-3 学会賞選考委員会 委員長 小山 聰子

- (1) 学会賞運営規則の改定、及び市民活動賞応募フォーマットの改定、ホームページへの掲載。
- (2) 大会優秀賞関連
- 新設の賞のあり方を検討、告知し、全国大会におけるセッション座長からの推薦を集約（大会直後）。
 - 選考委員内で審査の上、大会優秀賞 2 名と奨励賞各 2 名推薦（10 月 12 日）。
 - ホームページへの掲載及び表彰状送付と共に査読論文としての投稿を促した。
- (3) 市民活動賞関連
- 計 7 件の応募について、事前審査の上選考会議実施（10 月 12 日）。
 - 4 件の候補活動をリストアップの上、2 件につき現地調査を実施（11~12 月中）。全体から 2 件の表彰活動推薦（12 月 23 日）。
 - 1 月下旬に 3 月 31 日を締切りとする第 6 回市民活動賞募集の告知。

1-1-4 会誌委員会 委員長 萩輪 裕子

(1) 学会誌発行

- Vol. 16 No. 2 (2014年7月15日発行)
 - 特集1：差別解消法のその後
 - 特集2：障害をもつ子の外出・移動を考える
- Vol. 16 No. 3 (2014年11月15日発行)
 - 特集1：第17回日本福祉のまちづくり学会全国大会（東広島）報告
 - 特集2：オリンピック・パラリンピックについて
 - 新コーナー 会員紹介・大学の研究室、各種団体、企業等の福祉のまちづくりに関する取組みを紹介する。支部に紹介を依頼する。
- Vol. 17 No. 1 (2015年3月15日発行)
 - 特集1：第17回日本福祉のまちづくり学会全国大会（東広島）報告2
 - 特集2：東日本大震災復興調査報告その5
 - 特集3：これから空間づくりを考える—身体と空間研究委員会公開研究会報告—

(2) 会誌委員会の開催

- 2014年6月28日（日大） 今後の特集の内容、執筆担当者について
- 2014年8月23日（近畿大） 今後の特集の内容、執筆担当者について

1-2 : 学術研究委員会

1-2-1 学術研究委員会 委員長 八藤後 猛

(1) コメンテーター（付き）論文の実施

- 2014年度東広島大会から、論文発表においてコメンテーター論文の募集開始
- 審査（平成26年4月22日～4月28日）
- 福祉のまちづくり学会大会時における「コメンテーター論文」に関する提言、ならびに「コメンテーター論文」に関する実施要項（理事会承認）（平成26年3月28日付）により、学術研究委員（特別研究委員会委員）ならびに学術研究委員長の計10名が審査員となり、審査が行われた
- 審査参加者9名、審査不参加1名
- 審査結果の審査員への公表 平成26年4月28日
- 応募題数 25題 • 採用 24題 (過半の審査員が採用の判定)
- 不採用 1題 (過半の審査員が不採用の判定)

(2) 2015年度、2016年度特別研究委員会募集開始

1-2-1 (1) 震災復興支援・交通特別研究委員会 委員長 岡 正彦

- (1) 2014年4月14日(月)：災害ボランティアグループ会議（東北福祉大学）
- (2) 2014年4月28日(月)：災害時等の避難経路等調査グループ会議（同上）
- (3) 2014年5月15日(木)：移動弱者(障害児童等)の避難計画に関する会議(NPO法人つばめっこ<仙台市内>)
- (4) 2014年5月22日(木)：平成26年度災害ボランティアの受入体制の構築等及び移動弱者(障害児童等)の避難計画に関する第1回合同会議（中央大学）
- (5) 2014年10月20日(月)：国際学術セミナー「災害時における官民協働の国際比較研究」翰林大学(韓国)の事例紹介（東北福祉大学）60名
- (6) 2014年10月30日(木)：移動弱者(障害児童等)の避難に関する図上訓練(NPOつばめっこ法人2施設)15名
- (7) 2014年12月11日(木)：移動弱者(障害児童等)の避難訓練(NPOつばめっこ法人2施設)50名
- (8) 2015年1月7日(水)：災害ボランティアの受入体制の構築等に関するヒアリング(神奈川県川崎市役所)

1-2-1 (2) 震災復興支援・住宅特別研究委員会 委員長 狩野徹

3つの班に分かれて調査活動を行っている。26年度は委員会として集まることはできなかつたが、各委員会が知見・成果等を自治体等へ提案することを行つた。

(1) 仮設住宅の自治体への提案

小山市防災課にこれまでの成果物として、仮設住宅団地の配置案を提出した。

(2) 災害公営住宅建設への協力

岩手県の災害公営住宅のうち、「設計・施工一括方式」および「敷地提案型買取方式」のプロポーザルによる業者選定に関与した。当初は業者の応募が少なく選定ができないこともあったが、26年度は複数の提案の中から業者を選ぶことができた。

(3) 被災地で介護の必要な在宅高齢者等を抱えている家族調査の実施

在宅で要介護高齢者を抱えている家族に対し、訪問聞き取り調査を震災後から半年ごとに継続して行つてゐる。住宅に被害のなかった家族に比べ、仮設住宅へ入っている場合、更に住宅の問題が重なり、家族介護の疲弊感がうかがえるようになってきている。一方、家族が介護しているという自負感もあり、質の高い介護を続けてゐるケースも見られている。まだ結果は出でていないが2極化しあげた現状がとらえられている。

1-2-1 (3) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿芳則

(1) 2014年5月14日(水) : 平成26年度第一回委員会 (株)アルメックVIP会議室 参加人数11名

(2) 2014年8月11日(月) : 公開研究会「差別解消法の概要と施行に向けた課題について」(TOTOテクニカルセンター会議室) 参加人数19名

(3) 2014年8月23日(土) : 2014年度全国大会研究討論会「障害者差別解消法によって地域環境とくらしへどう変わるのか?」(近畿大学工学部広島キャンパス)

1-2-1 (4) 子育ち子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川 万由美

(1) 委員会

- ・2014年4月17日(木) : 第一回委員会(日本大学駿河台校舎) 今年度の活動について
- ・2014年9月19日(金) : 第二回委員会(日本大学駿河台校舎) 今年度後半の活動について
- ・2015年2月17日(火) : 第三回委員会(日本大学駿河台校舎) 東京子供みらいメッセ報告、セミナー打合
- ・2015年3月26日(木) : 第四回委員会(練馬区ココネリ)

(2) 研究会(見学会)

- ・2014年11月17日(月) : 川村義肢見学会 参加者8人

(3) セミナー

- ・2015年3月26日(木) : 「第6回子育ち・子育てまちづくりセミナー～双子の子育て・おでかけ」

(4) 他団体事業参加

- ・2014年12月23日(火) : 子育て応援とうきょう会議事務局主催「子供未来とうきょうメッセ2014」ブース出店(東京国際フォーラム)

(5) 原稿執筆

- ・「特集 子育ち・子育てまちづくり特別研究委員会 障害をもつ子の外出・移動を考える」として福祉のまちづくり研究 Vol.16-No.2に2014年3月のセミナーの内容を踏まえた記事を掲載(執筆、長谷川万由美・正田小百合・植田瑞昌)

1-2-1 (5) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

(1) 2014年4月16日(水) : 第7回幹事会(中央大学理工学部秋山研究室)

(2) 2014年5月9日(金) : 第4回委員会(国土技術研究センター会議室)

テーマ: 東京国際空港(羽田)国際線ターミナルビルUDスパイラルアップ検証について、話題提供: 切通健太郎氏

- (3) 2014年5月25日(日) : 第1回公開研究会準備(登壇者の葭原氏の移動様態の撮影)
- (4) 2014年5月31日(土) : 第1回公開研究会(産業技術総合研究所臨海オフィス会議室)
テーマ: これからの空間づくりを考える(その1—ロービジョン者の移動環境の視点から)
- (5) 2014年7月18日(金) : 第8回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)
- (6) 2014年7月25日(金) : 第5回委員会(国土技術研究センター会議室) テーマ: 路面標示あれこれ、話題提供: 中村豊四郎委員
- (7) 2014年8月22日(金) : 大会イベント特別研究委員会活動報告(東広島市民文化センター)
- (8) 2014年8月23日(土) : 大会研究討論会第2回公開研究会(近畿大学東広島キャンパス)
テーマ: これからの空間づくりを考える(その2)—誰のための情報?・その方法でよいのか?
- (9) 2014年10月21日(火) : 第9回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)
- (10) 2014年11月5日(水) 第6回委員会(日本大学駿河台校舎)
テーマ: 照明デザインと光の可能性、話題提供: 石田聖次委員
- (11) 2014年11月18日(火) 第10回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)
- (12) 2015年1月23日(金) 第7回委員会(国土技術研究センター会議室)
テーマ: ホームでの安全・安心の向上への取り組み—新たなホーム柵の評価、話題提供: 大野寛之委員
- (13) 2015年2月2日(月) 第11回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)
- (14) 2015年2月10日(火) 第3回公開研究会準備、松村氏(登壇者)へのインタビュー
- (15) 2015年3月3日(火) 第12回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)
- (16) 2015年3月6日(金) 第3回公開研究会(お茶の水女子大学)
テーマ: これからの空間づくりを考える(その3)—まちづくりの視点で五感を問い合わせ直す

1-2-1 (6) 情報・コミュニケーション特別研究委員会 委員長 中野 泰志

- (1) 2014年4月3日(木) : 「聴覚障害者が働く職場でのコミュニケーションの問題」紹介(ML会議)
参加人数 12人
- (2) 2014年5月31日(土) : 「飛行機への視覚障害者の乗車拒否事例」(ML会議) 参加人数 12人
- (3) 2014年6月5日(木) : 第1回委員会(第一生命本社) 参加人数 8人
- (4) 2014年6月7日(土) : リレーエッセイ「まちづくりにおける障害当事者参加のあり方」に関する意見集約(ML会議) 参加人数 12人
- (5) 2014年6月24日(火) : 総会資料のアクセシビリティチェック(ML会議) 参加人数 12人
- (6) 2014年7月1日(火) : 「聴覚障害者の希望を職場で伝えることの重要性」紹介(ML会議) 参加人数 12人
- (7) 適宜: 学会ホームページのアクセシビリティチェック(ML会議) 参加人数 12人
- (8) 2014年12月20日(土) : 勉強会「移動支援のハードを活かすソフト(制度等)の充実をめざして」
(日本大学)
- (9) 2015年1月20日(火) : 勉強会「聴覚障害者にとってのまちづくりとは?-ITの活用事例をもとに-」
(日本大学)

1-2-1 (7) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

- (1) 2014年7月7日(月) 16:30~19:00
地域福祉交通特別研究委員会 第1回研究会(中央大学研究開発機構) 参加人数 10人
- (2) 2014年8月23日(土) 14:00~16:45
日本福祉のまちづくり学会第17回全国大会研究討論会「地域交通政策の転換点…いま何を考えるべきか?」
(近畿大学工学部広島キャンパス) 参加人数 約60人
- (3) 2015年1月14日(水) 10:15~17:30
超高齢社会の社会インフラと交通に関する国際セミナー(中央大学後楽園キャンパス5号館1階36号室)
参加人数 約70人

1-2-1 (8) 国際特別研究委員会 委員長 北川 博巳

(1) 委員会ミーティング

2014年6月27日(金)：英文マガジン編集会議(東京大学)

2014年7月14日(月)：ミーティング(交通エコロジー・モビリティ財団)

2014年8月24日(日)：ミーティング(近畿大学工学部)

(2) 台湾高雄市ユニバーサルデザイン連盟との学術協定締結

(3) 2014年12月13日(土曜日)・14日(日曜日)：高度なユニバーサルデザインをめざす日本、中国、韓国特別セミナー」—2020東京オリンピックに向けて共催(東洋大学白山キャンパス)

(4) 2015年1月14日(水曜日)：超高齢社会の社会インフラと交通に関する国際セミナー共催(中央大学後楽キャンパス)

1-2-1 (9) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

(1) 2014年6月9日(月)：

日本福祉のまちづくり学会関西支部「サイン環境特別研究委員会公開研究会」

会場：大阪市立大学文化交流センター、参加：38名

(2) 2014年8月23日(土)：全国大会研究討論会「「わかりやすさ」のユニバーサルデザイン一心地良い環境の創造に向けて」会場：近畿大学広島キャンパス

(3) 2014年9月3日(水)～5日(金)：海外におけるサイン環境調査

視察国：デンマーク(コペンハーゲン)

(4) 2015年2月28日(土)：シンポジウム「五感を活用したサイン環境デザインの可能性」

会場：金沢勤労者プラザ(きんぷら)

(5) 委員会を10回開催。

第5回委員会 2014年5月10日(土)(大阪市立大学文化交流センター)

第6回委員会 2014年6月9日(月)(大阪市立大学文化交流センター)

第7回委員会 2014年7月26日(土)(難波現地調査)

臨時委員会 2014年8月22日(金)(近畿大学広島キャンパス)

第8回委員会 2014年8月29日(金)(大阪市立大学文化交流センター)

第9回委員会 2014年9月29日(月)(大阪市立大学文化交流センター)

第10回委員会 2014年10月18日(土)(難波現地調査)

第11回幹事会 2015年1月26日(月)(摂南大学)

第12回委員会 2015年2月7日(土)(大阪市立大学文化交流センター)

第13回委員会 2015年2月28日(土)(金沢勤労者プラザ)

1-2-2 オリンピック・パラリンピック特別委員会 委員長 秋山哲男

(1) テーマ：「東京オリンピック・パラリンピックにむけて」(本部：オリンピック・パラリンピック特別研究委員会と関東支部の共催)

日 時：2014年6月21日(土)(日本女子大学 目白キャンパス 百年館3階306教室)

内 容：1. 主旨説明(佐藤克志・日本女子大)、2. 東京のバリアフリー(別府知哉氏・八千代

エンジニアリング)、3. ロンドンのバリアフリー(秋山哲男氏・中央大学)、4. アスリートの視点から(三阪洋行氏・車いすラグビー・アテネ・北京・ロンドンパラリンピック日本代表)、5. 東京オリンピック・パラリンピックにむけてー意見交換ー

(2) オリンピック・パラリンピック委員会

日 時：2014年6月27日(金)(日本大学理工学部まちづくり工学科5号館5階スライド室1)

内 容：1)主旨、2)自己紹介(含むオリンピックの情報)、3)報告：オリンピック関係者の

ヒアリング（交通エコロジー・モビリティ財団 松原淳）、4)自由討論、5)今後の方向

(3) ロンドンにおけるオリンピック・パラリンピックの交通に関する調査報告会

日 時：2014年11月6日（木）（ソラシティカンファレンスセンター Room B）

主 催：公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

共 催：一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

内 容：開会挨拶・趣旨説明、ロンドンの交通に関する調査（エコモ財団）、魅力発信プロジェクト」について（東京地下鉄株式会社）、ロンドンオリンピック、パラリンピックの概要総括（秋山哲男氏）

(4) オリンピック・パラリンピックに向けた情報とバリアフリーに関するセミナー

日 時：2014年12月2日（火）（中央大学 6号館4階26室）

内 容：1)挨拶秋山哲男（中央大学研究開発機構・教授） 2)基調講演：ロンドンオリンピックにおけるICTの経験：フィリップ・モリス（ブリティッシュ・テレコム） コメンテーター 金丸直義（NTTサービスエボリューション研究所） 3)ロンドンオリンピック・パラリンピックのICTの活用：UKテック、ブリティッシュ・テレコムのヒアリングをもとに：井前吾郎（NTTサービスエボリューション研究所） 4)パラリンピック実行委員会のトニー氏（元マンチェスター大学教授）のヒアリング結果と調査の総括 秋山哲男（中央大学研究開発機構教授）

(5) 新国立競技場計画のユニバーサルデザインについて

日 時：2014年12月18日（木）（TOTO東京ショールーム4階会議室）

主 催：日本福祉のまちづくり学会オリンピック・パラリンピック委員会

コーディネート高橋儀平（東洋大学）

報 告：新国立競技場のユニバーサルデザインの考え方と設計の現状

報告者：（独法）日本スポーツ振興センター新国立競技場設置本部 宿本尚吾氏

新国立競技場設計JV 吉田安人氏

(6) テーマ：移動困難者の交通に関する国際セミナー

日 時：2014年1月14日（中央大学研究開発機構）

主 催：中央大学研究開発機構、日本福祉のまちづくり学会「国際委員会、地域福祉交通」、

土木学会「移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会」

内 容：1)開会のあいさつ：日本福祉のまちづくり学会秋山哲男 2)ストラスブルの交通戦略：森和也（中央大学研究開発機構客員研究員） 3)ロンドンの自転車戦略：別府知哉オリンピック・パラリンピックのここ1年の動き：沢田大輔・竹島恵子（交通エコロジー・モビリティ財団） 4)ヨルダンにおけるバリアフリーに向けた人材育成：江守央（日本大学理工学部交通システム工学科） 5)レザースキーナを用いたハンドル形電動車いすの転落事故防止対策：猪井博登（大阪大学） 6)'Crowdsourcing Wheelchair Accessibility' Catherine Sarah Holloway（UCL） 7)交通のバリアフリー整備と残された課題：山田稔（茨城大学） 8)高齢社会の高齢者モビリティ：北川博巳（兵庫県立福祉のまちづくり研究所） 9)わが国の地域公共交通に関する課題と今後：吉田樹（福島大学） 10)視覚障害者の歩行空間：稻垣具志（日本大学理工学部交通システム工学科） コメント：三星昭宏（関西福祉科学大学） 11)閉会のあいさつ 土木計画学研究委員会「移動権小委員会委員長」 山田稔（茨城大学）

1-3： 支部

1-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- (1) 2014年5月24日(土)：北海道支部総会(北海道開発技術センター)
- (2) 2014年6月15日(日)：共催／第9回北海道ユニバーサル上映映画祭七飯上映会(七飯町文化センター)
- (3) 2014年9月20日(土)～21日(日)：共催／第9回北海道ユニバーサル上映映画祭(北斗市総合文化センター「かなで～る」)
- (4) 2014年11月30日(日)：共催／第9回北海道ユニバーサル上映映画祭函館上映会(函館市総合福祉センター)
- (5) 2015年2月7日(土)・8日(日)・14日(土)・28日(土)・3月1日(日)・8日(日)：協力／雪はねボランティア(上富良野町他)
- (6) 2015年2月20日(金)：後援／第14回「野生生物と交通」研究発表会(札幌コンベンションセンター)
- (7) 2015年3月20日(金)：共催／公開研究会「ユニバーサルデザイン」はどこに向かうのか～北海道の取り組み事例から考える～(札幌駅前通地下歩行空間内 札幌駅側イベントスペース)

1-3-2 東北支部 支部長 猪野 徹

- (1) 2014年6月14日(土)：支部総会(東北福祉大学ステーションキャンパス：仙台市)
- (2) 2014年10月20日(月)：健康福祉システムの再構築に向けた海外(韓国)事例の紹介と研究ネットワーク基盤の構築について(東北福祉大学ステーションキャンパス)60名(東北福祉大学国際学術セミナー、福祉のまちづくり学会東北支部協

1-3-3 関東甲信越支部 支部長 佐藤 克志

- (1) 総会 2014年6月21日(土) 13:00-13:45
 - 会場：日本女子大学 目白キャンパス 百年館3階306教室 出席者：20名
 - 議事内容等：平成25年度事業・決算報告、監査報告、平成26年度事業計画案・予算案の承認
 - 2015年度 全国大会(東大・柏)開催について、など
- (2) 研究会 2014年6月21日(土) 14:00-16:30
 - 「東京オリンピック・パラリンピックにむけて」 参加者：40名
 - (本部：オリンピック・パラリンピック特別研究委員会との共催)
- (3) 支部役員会
 - ・2014年5月21日(水) 第14回関東甲信越支部役員会
 - 会場：日本女子大学目白キャンパス百年館高層棟12階 人間生活学演習室2 参加者：12名
 - ・2014年8月23日(土) 第15回関東甲信越支部役員会
 - 会場：近畿大学工学部広島キャンパスC308教室 参加者：15名
- (4) 平成27年度全国大会実行委員会(支部支援活動)
 - ・2014年7月17日(木) 第1回実行委員会(東京大学柏キャンパス)：参加者14名
 - ・2014年8月23日(土) 第2回実行委員会(近畿大学工学部広島キャンパス)：参加者15名
 - ・2014年10月1日(水) 第3回実行委員会(東京大学本郷キャンパス) 参加者：7名
 - ・2014年12月8日(月) 第4回実行委員会(東京大学本郷キャンパス) 参加者：32名

議題：柏大会全体概要、各作業部会(企画、論文、アクセス・情報保障・保育、広報・涉外)、今後の進め方

 - ・2015年2月25日(水) 第5回実行委員会(作業部長会)(日本女子大目白キャンパス)参加者：9名

議題：開催趣意書、予算計画、全体プログラム、その他各作業部会の懸案事項など

- ・2015年3月24日(火) 第6－1回実行委員会(作業部会長会)(東京大学本郷キャンパス)参加者:7名
<議題>論文募集、概要集執筆要領、見学会&大会プログラム、柏市承諾、学生アルバイト、会場準備等
- ・2015年3月31日(火) 第6－2回実行委員会(作業部会長会):東大本郷工学部8号館7階702室 参加者:5名
議題:大会プログラム、情報保障、アクセス、運営・会場準備、TODOリストの作成等

1-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- (1) 2014年5月11日(日):東海北陸支部総会
総会:支部長方針、2013年度活動報告・会計報告案並びに2014年度活動計画・予算案
会場:わだちコンピュータハウス 参加者:12名
- (2) 2014年7月20日(日):東海北陸支部 第2回研究・活動発表会
テーマ:東海北陸支部会員が行っている福祉のまちづくりに関する研究、活動等について
会場:日本福祉大学名古屋キャンパス 参加者:14名
- (3) 2014年10月16、24、27、30日:障がい者のバス利用環境に関する実態調査
内容:豊田市内を走行する路線バス5路線を対象に実施
調査項目:所要時間(乗車、固定、固定解除、降車)、固定の状態、走行時の負荷、運転者の声かけと配慮、利用者の意識等
- (4) 2014年11月29、30日(土、日):東海北陸支部 交流見学会
会場:話題性の高いバリアフリー施設の見学と、東海北陸支部会員相互交流を目的に、伊勢市、鳥羽市を見学 参加者:8名
- (5) 2015年2月15日(日):車いす利用者の路線バス利用環境セミナー
テーマ:車いす利用者の路線バス利用環境について
会場:名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校名駅西校舎 参加者:29名
- (6) 2015年2月28日(土):五感を活用したサイン環境デザインの可能性シンポジウム(共催)
テーマ:五感を活用したサイン環境デザインなど、今後のサイン環境整備のあり方について
会場:金沢勤労者プラザ(きんぷら)

1-3-5 関西支部 支部長 相良 二朗

- (1) 2014年4月20日(土):第40回関西支部セミナー(一般社団法人日本福祉用具評価センター:神戸市)
参加人数約50名:共催(日本リハビリテーション工学協会関西支部、他)
- (2) 2014年6月9日(月):第41回関西支部セミナー:サイン環境特別研究委員会の活動成果から(大阪市立大学サテライト教室:大阪市) 参加人数約40名:支部総会を合わせて開催
- (4) 2014年7月30日(水):ひょうごユニバーサル社会づくり推進会議(兵庫県公館:神戸市) 参加人数約200名:共催(兵庫県、兵庫県立福祉のまちづくり研究所)
- (5) 2014年12月2日(火):第1回勉強会:スコットランドの交通まちづくり事情(中央復建コンサルタンツ株式会社:大阪市) 参加人数18名
- (6) 2014年12月16日(火):第2回勉強会:福島の今を五感で伝える被災地ソーリズムの可能性(神戸勤労会館:神戸市) 参加人数6名
- (7) 2015年3月4日(水):第3回勉強会:みどり空間における合理的配慮を考える(神戸市勤労会館:神戸市) 参加人数未定:共催(兵庫県立淡路景観園芸学校、兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科、他)
- (8) 2015年3月21日(土):第4回合同シンポジウムへの共催「いっしょにやろうや『住』」(川村義肢株式会社:大東市):参加人数未定:(一般社団法人日本リハビリテーション工学協会、全国頸髄損傷者連絡会)

(9) その他：こうべUD都市づくりの取り組み団体への参加

1-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- (1) 2014年4月7日(月)：幹事会・第17回全国大会実行委員会（サテライトキャンパス）参加人数11名
- (2) 2014年5月16日(金)：第17回全国大会実行委員会（近畿大学工学部） 参加人数16名
- (3) 2014年6月18日(水)：支部総会・第17回全国大会実行委員会（近畿大学工学部） 参加人数17名
- (4) 2014年7月16日(水)：第17回全国大会実行委員会（近畿大学工学部） 参加人数 20名
- (5) 2014年7月30日(水)：第17回全国大会実行委員会（近畿大学工学部） 参加人数 18名
- (6) 2014年8月7日(木)：第17回全国大会実行委員会（近畿大学工学部） 参加人数 21名
- (7) 2014年8月18日(月)：第17回全国大会実行委員会（近畿大学工学部） 参加人数 22名
- (8) 2014年8月22・23・24日(金・土・日)：第17回全国大会（近畿大学工学部） 参加人数 228名
- (9) 2014年8月22日(金)：第17回全国大会で市民公開シンポジウム（東広島市市民文化センター） 参加
人数 144名
- (10) 2014年8月30日(土)：幹事会・第17回全国大会報告会（近畿大学工学部） 参加人数 16名
- (11) 2014年12月10日(水)：防災・バリアフリー・観光をキーにした情報に関するオープンイノベーション
セミナー（広島市民交流プラザ） 参加人数 30名

1-3-7 九州沖縄支部 支部長 竜口 隆三

- (1) 2015年1月24日(土)：第14回九州沖縄支部北九州大会（西日本工業大学） 参加者 8名
- (2) 2015年3月22日(日)：第2回九州沖縄支部主催セミナー（南九州大学）

1-4：全国大会（東広島大会）

■開催概要

- 名 称 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会 第16回全国大会（東広島）
大会長：京極 秀樹（近畿大学工学部部長）
実行委員長：高井 広行（近畿大学工学部教授）
- 大会テーマ 「超高齢社会のまちづくり」～我々を取り巻く生活バリアフリーを考える～
- 開 催 日 時 2014年8月22日（金）～24日（日）
- 開 催 場 所 メイン会場 近畿大学工学部 広島キャンパス
シンポジウム会場 東広島市市民文化センター アザレアホール

●主要企画

内容	日付 8月22日 (金)	8月23日 (土)	8月24日 (日)
① 研究発表会		○	
② 研究討論会		○	
③ ポスターセッション		○	
④市民公開シンポジウム	○		
⑤特別研究会報告	○		
⑥見学会			○
⑦懇話会	○		
⑧交流会		○	

●セッション数 19セッション

研究発表数：一般論文口頭 76編

一般論文ポスター 13編

コメントーター論文 24編

●参加者数

大会参加 228名(一般、学生会員、非会員)

交流会 112名

公開シンポジウム 144名(市民参加者含む)

見学会 36名

●収支報告（詳細は次頁 本部からの支援費：175,489円）

収入 2,150,067円(参加費、交流会費、協賛等、大会用銀行口座利息など)

支出 2,325,556円(会場借上げ、大会運営、印刷代、謝金、大会参加取消し返納など)

日本福祉のまちづくり学会 第17回全国大会(東広島)決算報告

[大会収入の部]

項目	分類	単価	数量	金額	合計	備考
参加費	一般正会員	¥7,000	152	¥1,064,000		法人会員含む
	一般非会員	¥10,000	10	¥100,000		
	学生正会員	¥2,000	24	¥48,000		
	学生非会員	¥3,000	16	¥48,000		
			202			
	合計				¥1,260,000	
交流会費	一般	¥5,000	82	¥410,000		
	学生	¥3,000	10	¥30,000		
	合計				¥440,000	
懇話会費	懇話会代金	¥5,000	18	¥90,000		
	合計				¥90,000	
広告・展示	企業広告	¥50,000	1	¥50,000		大之木ダイモ
		¥20,000	2	¥40,000		(株)イシバシ、(社福)慈楽福祉
	企業展示	¥50,000	1	¥50,000		コーポレーションパールスター
		¥30,000	4	¥120,000		篠原電機、ウツミ株式会社、エコモ財団、Jパックス
	合計				¥260,000	
開催支援費	東広島市	¥100,000	1	¥100,000		
	学会支援費	¥175,489	1	¥175,489		
	合計				¥275,489	
その他	利息	¥67		¥67	¥67	
	収入総合計				¥2,325,556	

[大会支出の部]

項目	分類	単価	数量	金額	合計	備考
会場費	横断幕	¥29,160	1	¥29,160		シンボ会場用
	花代	¥10,800	1	¥10,800		シンボ会場用
	合計				¥39,960	
シンポジューム	講師謝金	¥20,000	1	¥20,000		シンポジューム(塚井)
	パネラー謝金	¥10,000	4	¥40,000		岡本・竹内・高橋・川口
	要約筆記代	¥31,000	1	¥31,000		シンポジューム
	手話通訳代	¥19,216	1	¥19,216		シンポジューム
	合計				¥110,216	内、10万円を平成26年度東広島市学術振興補助金から支払う。
	合計				¥491,300	
印刷経費	プログラム代金	¥60,000	1	¥60,000		100円×600部
	プログラム用紙代	¥62,464	1	¥62,464		
	ポスター用紙代	¥19,308	1	¥19,308		
	インク代金	¥81,108	1	¥81,108		トナー・カートリッジ(C/M/Y/B)
	IJインク	¥39,480	1	¥39,480		
	ポスター制作費	¥20,000	1	¥20,000		井上翔太
	運営委員会資料代	¥148,060	1	¥148,060		委員会12回分(カラー80960円、白黒67100円)
	印刷消耗品	¥60,880	1	¥60,880		プリンタートナー及び消耗品費
交流会費・懇話会費	合計				¥491,300	
	飲食代	¥505,890	1	¥505,890		交流会及びアルバイトの昼食(食堂うめの辺)
	酒造り歌	¥20,000	1	¥20,000		
	地酒代	¥20,621	1	¥20,621		
	おチョコ代	¥5,000	1	¥5,000		
	懇話会費	¥188,000	1	¥188,000		5000円×36人+2000円×4人(cancel)
事務関係他	合計				¥739,511	
	事務用品費	¥29,359	1	¥19,359		電池・BOX代金・ネイムカード他
	お茶代	¥9,130	1	¥9,130		休憩場所のお茶代
	お弁当代	¥49,000	1	¥49,000		23日・24日分
	託児代	¥43,500	1	¥43,500		
	会場費			¥2,760		サテライトキャンパス広島2回
	ガイド代	¥4,000	1	¥4,000		見学会
	アルバイト代	¥305,000	1	¥305,000		
	宅急便代	¥6,388	1	¥6,388		本部への返送
	委員交通費	¥356,000	1	¥356,000		実行委員会委員交通費
	交通費	¥2,940	1	¥2,940		
	郵送代金	¥39,110	1	¥39,110		
	反省会費	¥60,000	1	¥60,000		
	後援等への交通費	¥45,000	1	¥45,000		広島県・市、三原市・三次市・竹原市等
	両替手数料	¥108	1	¥108		
	本部負担手数料	¥2,274		¥2,274		講師謝礼に関する本部負担手数料
	合計				¥944,569	
	総合計				¥2,325,556	
	収支				¥0	

議案-2 平成 26 年度 決算報告

収支計算書

平成 26年 4月 1日 から 平成 27年 3月 31日まで

科 目	予 算 額	実 績	差 異	(単位:円) 執行状況
I 収入の部				
1. 会費収入	9,080,000	6,420,000	-2,660,000	70.7%
正会員	8,800,000	6,145,000	-2,655,000	69.8%
学生会員	170,000	171,000	1,000	100.6%
入会金	110,000	104,000	-6,000	94.5%
2. 法人会費	1,040,000	735,000	-305,000	70.7%
法人会員	1,000,000	650,000	-350,000	65.0%
賛助会員	40,000	80,000	40,000	200.0%
入会金	0	5,000	5,000	-
3. 事業収入	280,000	2,700,845	2,420,845	964.6%
講演会・講習会等参加費(懇親会費含む)	50,000	65,877	15,877	131.8%
刊行物販売等	100,000	250,109	150,109	250.1%
広告収入	50,000	0	-50,000	0.0%
論文掲載料・査読料	80,000	214,792	134,792	268.5%
研究委託費	0	0	0	-
全国大会収入	0	2,150,067	2,150,067	-
支部収入	0	20,000	20,000	-
4. 寄付金収入	600,000	600,000	0	100.0%
5. 前年度繰越金	6,838,982	6,838,982	0	-
6. 雑収入(利息等)	50,000	280,610	230,610	561.2%
収入合計	17,888,982	17,575,437	-313,545	98.2%
II 支出の部				
1. 事業費	7,211,000	6,029,887	-1,181,113	83.6%
全国大会支援費	500,000	0	-500,000	0.0%
全国大会事業費	0	2,325,556	2,325,556	-
講習会等(懇親会費含む)	50,000	58,500	8,500	117.0%
学術研究委員会(各委員会謝金、交通費等)	1,420,000	536,763	-883,237	37.8%
国際ジャーナル	500,000	0	-500,000	0.0%
JD入会金	100,000	100,000	0	100.0%
震災復興活動支援費	896,000	296,000	-600,000	33.0%
学会賞事業費	50,000	69,198	19,198	138.4%
会誌(学会誌Vol.16-No.2、No.3、17-No.1 まちづくり研究NO.1)	1,885,000	1,715,716	-169,284	91.0%
査読者謝金(5,000×35)	250,000	175,000	-75,000	70.0%
ホームページ維持管理	200,000	12,333	-187,667	6.2%
選挙関連費用	220,000	312,682	92,682	142.1%
学会変更登記手数料	30,000	0	-30,000	0.0%
支部支援費(北海道、東北、関東、東海北陸、関西、中四国、九州)	1,050,000	0	-1,050,000	0.0%
支部事業費	0	408,139	408,139	-
総会運営費(公開セミナー講師謝礼)	60,000	20,000	-40,000	33.3%
2. 管理費	5,490,000	4,323,671	-1,166,329	78.8%
事務局本部人件費	1,200,000	1,180,345	-19,655	98.4%
事務委託費	2,070,000	2,076,276	6,276	100.3%
備品・消耗品費	30,000	54,672	24,672	182.2%
印刷費(理事会資料)	60,000	34,686	-25,314	57.8%
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	180,000	102,380	-77,620	56.9%
交通費(2回分)	1,800,000	777,837	-1,022,163	43.2%
税務処理費	100,000	70,000	-30,000	70.0%
事務諸経費(会議費、雑費)	50,000	27,475	-22,525	55.0%
3. 積立金および積み立て繰入支出	200,000	200,000	0	100.0%
4. 予備費	1,200,000	26,260	-1,173,740	-
当年度支出合計	14,101,000	10,579,818	-3,521,182	75.0%
当年度収支差額	3,787,982	6,995,619		
次年度繰越金	3,787,982	6,995,619		

貸 借 対 照 表

平成27年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
		合 計	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,146,957		
流動資産合計			7,146,957
2. 固定資産			
積立金	2,900,000		
固定資産合計			2,900,000
資産合計			10,046,957
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	50,000		
会費前受金	96,000		
預かり金	5,338		
流動負債合計			151,338
2. 固定負債			
固定資産合計			0
負債合計			151,338
III 正味財産の部			
正味財産			9,895,619
(うち基本金)			(0)
(うち当期正味財産増加額)			356,637
負債及び正味財産合計			10,046,957

財産目録

平成 27年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	細 目	金額	
		一般勘定	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金	(1) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行青葉台支店	239,554	
	北海道支部	14,745	
	東北支部	40,003	
	関東支部	43,800	
	東海北陸支部	667	
	関西支部	51,728	
	中国四国支部	239,447	
	九州支部	130,800	
	柏大会実行委員会口座	250,000	
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	243	
	(2) 郵便口座		
	(会費口)	6,106,089	
	(3) 事務局預かり金	29,881	
	流動資産合計		7,146,957
2. 固定資産			
(1) 積立金	(1) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	2,900,000	
	固定資産合計		2,900,000
	資 产 合 計		10,046,957
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 会費前受金		96,000	
(2) 預り金		5,338	
(3) 未払金		50,000	
	流動負債合計		151,338
2. 固定負債			
	固定負債合計		0
	負 債 合 計		151,338
	正 味 財 産		9,895,619

正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月 31日まで

一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	6,420,000	6,998,000	△ 578,000
正会員	6,145,000	6,730,000	△ 585,000
学生会員	171,000	168,000	3,000
入会金	104,000	100,000	4,000
法人会費	735,000	740,000	△ 5,000
法人会員	650,000	700,000	△ 50,000
賛助会員	80,000	40,000	40,000
入会金	5,000	0	5,000
事業収益	2,700,845	1,691,030	1,009,815
講演会・研究会による参加費	65,877	125,750	△ 59,873
刊行物販売等	250,109	514,359	△ 264,250
論文掲載料・査読料	214,792	92,000	122,792
研究委託費	0	958,921	△ 958,921
全国大会収益	2,150,067	0	2,150,067
支部収益	20,000	0	20,000
受取寄付金	600,000	459,484	140,516
雑収益	30,610	49,079	△ 18,469
経常収益計	10,486,455	9,937,593	548,862
(2) 経常費用			
事業費	6,029,887	3,426,282	2,603,605
全国大会事業費	2,325,556	500,000	1,825,556
講習会等	58,500	75,735	△ 17,235
学術研究委員会	536,763	421,375	115,388
JD入会金	100,000	0	100,000
学会15周年記念出版事業・編集費	0	582,620	△ 582,620
震災復興活動支援費	296,000	0	296,000
学会賞事業費	69,198	0	69,198
会誌	1,715,716	1,261,250	454,466
謝金	175,000	65,000	110,000
ホームページ維持管理	12,333	12,125	208
選挙関連費用	312,682	0	312,682
学会変更登記手数料	0	143,000	△ 143,000
支部支援費	0	351,090	△ 351,090
支部事業費	408,139	0	408,139
総会運営費	20,000	14,087	5,913
管理費	4,323,671	3,829,695	493,976
事務局本部人件費	1,180,345	996,498	183,847
事務委託費	2,076,276	1,943,591	132,685
備品・消耗品費	54,672	30,193	24,479
印刷費	34,686	51,975	△ 17,289
通信費	102,380	78,927	23,453
交通費	777,837	639,676	138,161
税務処理費	70,000	70,000	0
事務諸経費	27,475	18,835	8,640
予備費	26,260	0	26,260
経常費用計	10,379,818	7,255,977	3,123,841
評価損益等調整前当期経常増減額	106,637	2,681,616	△ 2,574,979
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	106,637	2,681,616	△ 2,574,979
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前年度大会支援収益	250,000	0	250,000
経常外収益計	250,000	0	250,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	250,000	0	250,000
当期一般正味財産増減額	356,637	2,681,616	△ 2,324,979
一般正味財産期首残高	9,538,982	6,857,366	2,681,616
一般正味財産期末残高	9,895,619	9,538,982	356,637
II 正味財産期末残高	9,895,619	9,538,982	356,637

議案-3 監査報告

※総会の配布資料には押印入り

監 査 報 告 書

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会

会長 秋山 哲男 殿

作成日 平成 年 月 日

監事

(印)

監査事項

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会の監事として一般社団法人及び一般財団法人に関する法律にもとづく、会計監査及び業務監査を実施した。

会計監査の結果

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度の会計帳簿および財務諸表等につき一般に認められた会計監査の基準にしたがって照合実査、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

- 1) 正味財産増減計算書は、会計基準のフォーマットに合わせて作成されている。
- 2) 財産目録および貸借対照表に記載の諸資産が正しく保全され正確な会計処理がなされて
 いる。
- 3) 会計帳簿・伝票等・会計関係書類一式が、適正に保管され正確な会計処理がなされている。

業務監査報告

理事の業務執行状況を監査するため、理事会に出席するとともに、理事から業務執行の状況
を聞き、重要な決済書類を閲覧し、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

理事の業務執行は合法適正に行われ、不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はない。

監事の意見

上記監査結果にもとづき監事は財務諸表等及び財産目録が当学会の財産及び正味財産増減の状況を適正に表示
しており、且つ理事の業務執行は適正に行われているものと認める。

議案-4 定款の改正

平成 27 年 6 月 13 日改正予定

○第 14 条の「代議員」において、2 項(4)「選挙代議員及び支部代議員による」の文言を削除する。

⇒推薦代議員は現理事会を中心として選任。他の規約などとの整合性を図る。

○第 15 条の「代議員の任期」において、1 項及び 4 項で「代議員の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度末までとする。」に変更する。

⇒代議員の任期を事業年度と同一とし、2 年度を任期とする。事業年度との整合性を図る。4 月 1 日：年度の実質スタート。

○第 24 条の「役員の設置」において、1 項(1)の「理事 10 名以上 20 名以内」を「理事 10 名以上 25 名以内」に変更する。また、3 項の副会長の選任人数を「4 名」から「5 名以内」に変更する。

⇒理事の増員を図るため。

○第 48 条の「公告の方法」において、文言に誤植があり「して」を削除する。

○第 28 条(役員の任期)を次のとおり変更して、役員のうち理事の任期を 2 事業年度と同一にすることによって、事業年度の期間と整合性を図り、定款の任期を短縮する。また、役員のうち監事の任期については、一般社団法人等に関する法律の規定(第 67 条第 1 項)が強行法規であるため従来の定款規定のとおりとし、条文中の号数を整理する。

(変更前)

第28条 役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、第24条(役員の設置)に定める定数に不足が生じる場合は、任期の満了または辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。

(変更後)

第28条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度末までとする。ただし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

3 補欠として選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 役員は、第24条(役員の設置)に定める定数に不足が生じる場合は、任期の満了または辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。

議案-5 平成27年度、28年度推薦代議員、理事、監事の選任等

1. 第三期代議員等の選任

1) 選挙による選挙代議員（20名）の確定：報告

平成26年12月23日選挙結果を受け、理事会にて承認

秋山哲男、池田典弘、江守央、男鹿芳則、小山聰子、金澤真理、狩野徹、鎌田実、北川博巳、古瀬敏、佐藤克志、澤田大輔、清水政司、田中直人、中野泰志、長谷川万由美、原利明、水村容子、八藤後猛、吉田樹

2) 選挙による支部代議員＝支部長＝理事（7名）の確定：報告（支部規約の改正含む）

平成26年12月23日選挙結果を受け、理事会にて承認

鈴木克典（北海道）、岡正彦（東北）、高橋義平（関東甲信越）、磯部友彦（東海北陸）、岡田明（関西）、今田寛典（中国四国）、岩浦厚信（九州沖縄）

3) 推薦代議員（8名）の「選任」

平成27年3月5日選挙選出代議員会議にて推薦、同日理事会にて承認

今岡芳子、大森宣暉、黒寄隆、松田雄二、三谷千瀬、室崎千重、山岡俊一、横山哲

4) 理事（13名）・監事（2名）の「選任」

平成27年3月5日選挙選出代議員会議にて役員候補を優先し投票・推薦、同日理事会にて追加推薦・承認

理事：秋山哲男、池田典弘、江守央、小山聰子、狩野徹、鎌田実、北川博巳、佐藤克志、澤田大輔、

清水政司、長谷川万由美、水村容子、八藤後猛

監事：黒寄隆、古瀬敏

2. 役員、委員長体制（社員総会後の理事会決議事項：予定報告）

1) 会長・代表理事

秋山哲男

2) 副会長

小山聰子、狩野徹、鎌田実、北川博巳、八藤後猛

3) 常任委員会委員長

総務委員長：池田典弘

論文委員長：狩野徹

学会賞選考委員長：磯部友彦

会誌委員長：澤田大輔

学術研究委員長：八藤後猛

4) 事務局長

清水政司

5) 特別研究委員会委員長

(1)震災復興支援・住宅特別研究委員長：狩野徹

(2)法制度特別研究委員長：男鹿芳則

(3)子育ち・子育てまちづくり特別研究委員長：植田瑞昌

(4)身体と空間特別研究委員長：原利明

(5)情報・コミュニケーション特別研究委員長：須田裕之

(6)地域福祉交通特別研究委員長：吉田樹

(7)国際特別研究委員長：北川博巳

(8)サイン環境特別研究委員長：田中直人

(9)住まいと福祉コミュニティ特別研究委員長：水村容子

(10)住民参画・社会環境特別研究委員長：長野博一

(11)各種国家資格試験での障害者特別措置に関する特別研究委員長：田中賢

議案-6 平成27年度 事業計画案

6-1：常設委員会

6-1-1 総務委員会 委員長 池田 典弘

- (1) 予算及び事業計画の立案と社員総会の運営
- (2) 定期的な委員会の開催
 - ・会長、事務局長等との意見交換及び調整について
 - ・会員の増員のための検討について
- (3) 購読会員の勧誘のための各大学、外郭団体への活動実施を進める。
- (4) 策定規定類について、引き続き内容を精査し改定すべき箇所の改正を進める。
- (5) 委託事務局の国際文献社との調整

6-1-2 論文委員会 委員長 狩野 徹

- (1) 投稿規定、査読規定等の改訂および査読体制の強化を図る。

6-1-3 学会賞選考委員会 委員長 磯部 友彦

- (1) 今後についての決定事項
 - ・総会時に第5回市民活動賞の表彰式を予定（6月13日）
 - ・次回から8月の全国大会時に表彰ができるように選考を進める。
 - ・次回第6回学会賞においては論文賞も決定の予定。
 - ・学会賞選考委員会のメンバー交代。（半数交代）

6-1-4 会誌委員会 委員長 澤田 大輔

- (1) 学会誌発行
 - ・Vol. 17 No. 2 (2015年7月15日発行)
特集：特別研究委員会の取組から：「地域福祉交通特別研究委員会」・「サイン環境特別研究委員会」
新連載「カゲル 福祉のまちづくり×○○」の開始
福祉のまちづくりと各分野の関係を学生、初学者にもわかりやすく伝える新連載
 - ・Vol. 17 No. 3 (2015年11月15日発行)
特集：第18回全国大会（東京大学・柏キャンパス）報告、研究委員会の取組から
 - ・Vol. 18 No. 1 (2016年3月15日発行) 特集：未定、特別研究委員会の取組から
- (2) 会誌委員会の開催
 - 1) 魅力ある会誌づくり（購読者向け記事の拡充） 2) 確実で効率的な作業手順の確立（委員連携含む）

6-2：学術研究委員会

6-2-1 学術研究委員会 委員長 八藤後 猛

- (1) コメンテーター（付き）論文の実施
2015年度全国大会（柏）論文発表においてコメンテーター論文の実施
- (2) 2015年度、2016年度特別研究委員会の審査、委員公募を行い、新委員会の活動を開始

- (3) 学術研究委員会のあり方を再確認し、学術研究委員を新しく選任。組織再編を行う
- (4) いくつかの事業を計画し、学会ならびに学会員の学術研究の質的向上を目指し、若手研究者の育成を行う
- (5) 平成27・28年度の特別研究委員会の構成は以下11委員会とし、基本予算12万/委員会とし、追加総予算(25万)の配分は今後の検討とする

6-2-1(1)<「震災復興支援・住宅」特別研究委員会> 委員長 狩野 徹

災害時に建設される仮設住宅やサポートセンター等の仮設住宅団地建設の経緯や生活環境やコミュニティ変化などの実態把握を行い、改善方策や今後の仮設住宅のあり方等の提言を目指す。また、今後建設が多く見込まれる災害公営住宅の課題を明らかにし、復興へむけた住宅のあり方やまちづくりの支援を行う。対象地域は東日本大震災被災地の岩手県、福島県を中心に現状を分析し、今後の防災対策をしている自治体等への提言を予定。

6-2-1(2)<「法制度」特別研究委員会> 委員長 男鹿芳則

法制度特別研究委員会では、バリアフリー法、障害者差別解消法などの福祉のまちづくりに関する法律や、自治体が制定している福祉のまちづくり条例などについて、調査研究活動を展開することで、福祉のまちづくりのスピーラルアップを目指している。主な活動内容としては、各種調査や、研究会の開催を中心に取り組んでいる。

6-2-1(3)<「子育ち・子育てまちづくり」特別研究委員会> 委員長 植田瑞昌

こどもが健やかに育ち、子育てがしやすい社会に向けた方策について、学会の学際的な特徴を生かして、建築、交通工学、福祉などさまざまな視点から調査・研究をしている。また、「子育ち・子育てバリアフリー教室」の実施や子育て支援団体等との連携、障害児・双子などに関する勉強会等を通じて、子育て当事者の視点を研究に生かしていく。

6-2-1(4)<「身体と空間」特別研究委員会> 委員長 原 利明

本研究委員会は、「身体」を中心に誰もが暮らしやすいまちづくりを考えることを目標に、建築計画・建築環境工学・人間工学など多様な研究分野に加え、デザイン実務者や障害当事者も加わった幅広いプラットフォームの上で議論を行っている。活動拠点は東京都心で年に4回の委員会と年3回程度の公開研究会を企画している。今年度は、視覚・聴覚・触覚に関する連続セミナーの開催も予定している。

6-2-1(5)<「情報・コミュニケーション」特別研究委員会> 委員長 須田裕之

これまで、障害者等の移動円滑化の促進において、ハード的な整備が先行してきた。今後はハードとソフトが連携した総合的な仕組みづくりが必要と考えられている。本委員会では、障害当事者やユーザ当事者に目を向けた、情報・コミュニケーション環境の整備を検討する。特に、障害特性に合わせ、その利用者属性を認識した上で、情報提供等が可能な仕組みづくりを目指す。

6-2-1(6)<「地域福祉交通」特別研究委員会> 委員長 吉田 樹

本委員会は、市民の包括的な生活保障を実現する手段としてのモビリティの提供方策を明らかにすることを目的に、地域福祉交通の計画手法や評価技術の構築、タクシーやスペシャル・トランスポート・サービス(STS)を含む、新たな地域福祉交通サービスのシステムやしくみづくりに関する提案を「実践知」に基づき推進することを目指している。主な活動地域：東京

6-2-1(7)<「国際」特別研究委員会> 委員長 北川博巳

わが国のユニバーサルデザインやバリアフリーデザイン研究の国際的水準は高く、そのノウハウを活かすためにも、開発国の支援や先進国とも情報の共有化や連携強化を図る必要がある。そのための教本作成や具体的な支援、技術・政策・事例などを含めた国際マガジンの発行などをはじめとする国際連携の第一歩を踏み出すことを目標にしている。

6-2-1(8) <「サイン環境」特別研究委員会> 委員長 田中直人

高齢化や都市化の進展する中、多様な利用者にとって、安全快適でわかりやすい移動環境の実現が求められる。本委員会はこれに必要な人間と環境の生理的・心理的特性と環境の空間特性を考慮した基礎的研究の成果をとり上げ、それらを反映したサイン環境のデザイン手法の展開につなげる活動を主たる目的とする。委員会は関西にて開催、研究成果についての研究会などを計画する。

6-2-1(9) <「住まいと福祉コミュニティ」特別研究委員会> 委員長 水村容子

超高齢化社会の進行や地方の衰退などの社会的背景を通じて、住まいとコミュニティのあり方が問われている。特に高齢化対策として、地域包括ケアシステムやスマートウェルネスシティ等の構想が提示されており、その中心的な役割を果たす場として「住まい」が位置づけられている。本研究会では、こうした施策のハードとソフト面からの仕組みのあり方について検討を行う。

6-2-1(10) <「住民参画・社会環境」特別研究委員会> 委員長 長野博一

我が国では、移動制約者等への理解が十分とは言えず、「気づき」の意識啓発や1人ひとりの心のバリアフリーの理解と浸透は、緊急的に進めるべき社会環境としての重要課題と言える。本研究委員会では、住民参加・参画等の具体的な事例を検証しつつ、福祉のまちづくりを自助・共助・公助の視点で取り組む方策と社会環境づくりのための調査研究・提言を行う。

6-2-1(11) <「国家資格試験での障害者特別措置に関する」特別研究委員会> 委員長 田中 賢

国家資格試験での障害者への特別措置の配慮は大学等の講義・演習で受けてきた配慮内容と差異がみられる。また試験間でも大きく異なる。建築・不動産、福祉、医療、法務・財務などの多岐にわたる国家資格試験での障害者特別措置について横断的に調査を行い、学会として試験実施機関に問題点の指摘および改善提案を行う。活動地域は試験実施機関が集まる東京とする。

6-3：支部

6-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- (1) 北海道支部総会：2015年5月23日（土）（会場：一般社団法人北海道開発技術センター）
- (2) 第10回北海道ユニバーサル上映映画祭及び上映会<共催行事>
 - 2015年6月21日（日）：七飯上映会（会場：七飯町文化センター）
 - 2015年9月26日（土）～27日（日）：映画祭（会場：北斗市総合文化センターかなで～る）
 - 2015年11月29日（日）：函館上映会（会場：函館市総合福祉センター等市内公共施設等に相談中）
- (3) 主催セミナー：2015年11月（会場未定）
- (4) 第15回「野生生物と交通」研究発表会：2016年2月<後援行事>（会場：札幌コンベンションセンター）
- (5) 雪はねボランティア：2016年2月<協力行事>（場所：上富良野町他）

6-3-2 東北支部 支部長 岡 正彦

- (1) 支部総会 2015年4月25日（土）（東北福祉大学）
- (2) 研究会・2015年9月下旬：震災復興関係報告会（東北福祉大学）
 - 震災復興（住宅・交通）特別研究委員会と合同開催
 - ・2015年11月中旬：事例検討会（盛岡）

6-3-3 関東甲信越支部 支部長 高橋 儀平

- (1) 支部総会 5月30日(土) 13:30~ 会場:日本女子大学
- (2) 全国大会への支援、協力活動
8月7日~9日に東京大学柏キャンパスで開催される全国大会への支援活動
- (3) 研究会、交流会等
 - 1) 関東甲信越支部が管轄する各県の会員向け(仮称)福祉のまちづくりリレー研究会
今年度は2回程度下記の地域で開催予定
 - ・2015年10月:「北陸新幹線の開通と信越地域の福祉のまちづくり」 会場:長野市内
 - ・2015年12月:「世界遺産富士山の観光と福祉のまちづくり」 会場:山梨県内
 - 2) 2015年11月:若手会員の交流を目指す研究発表会(仮称)の開催予定
 - 3) その他
 - ・2015年7月14日:高齢者の「住まい貧困」を考える勉強会 会場:東洋大白山校舎
 - ・2015年9月:建築設計標準「劇場、競技場」の追補版勉強会 会場:未定

4-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- (1) 2015年4月:東海北陸支部総会(名古屋都市センター 第1会議室)
- (2) 2015年7月:東海北陸支部 研究交流会の開催(予定)
- (3) 2015年9月:東海北陸支部 第1回セミナーの開催(予定)
- (4) 2015年11月:東海北陸支部 見学会勉強会の開催(予定)
- (5) 2016年2月:東海北陸支部 第2回セミナーの開催(予定)

6-3-5 関西支部 支部長 岡田 明

- (1) 2015年4月13日(月):幹事会(谷岡学園梅田サテライトオフィスグランフロント大阪タワーA)
- (2) 2015年5月12日(火) 支部総会(谷岡学園 梅田サテライトオフィスグランフロント大阪タワーA)
- (3) 2015年5月12日(火) 第42回福祉のまちづくり関西セミナー(谷岡学園 梅田サテライトオフィスグラ
ンフロント大阪タワーA) ⇒台風接近のため延期、8月に開催
- (4) ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第22回福祉のまちづくりセミナー 後援予定
- (5) 秋ごろ:セミナー開催予定
- (6) 勉強会:年2~3回程度開催予定

6-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- (1) 2015年5月14日(木):第1回中国四国支部幹事会(広島文化学園大学坂キャンパス)
- (2) 2015年7月11日(土):第2回中国四国支部幹事会、総会、セミナー(広島サテライトキャンパス)
- (3) 2015年10月:四国地区セミナー・見学会
- (4) 2015年12月:公開講演会・第3回中国四国支部幹事会(広島市民交流プラザ)
- (5) 2016年3月:第4回中国四国支部幹事会・研究発表会(広島文化学園大学坂キャンパス)

4-3-7 九州沖縄支部 支部長 岩浦 厚信

- (1) 2015年10月31日(土):第15回九州沖縄支部北九州大会(西日本国際福祉機器展会場)
- (2) 2016年3月(未定):第3回九州沖縄支部主催セミナー(会場未定)

議案-7 平成27年度 予算案

								(単位:円)
科 目		平成27年度	対26年度	平成26年度				
		予算額	対予算差異	対実績差異	予算額	実 績	差 異	執行状況
I 収入の部								
1. 会費収入		7,280,000	-1,800,000	860,000	9,080,000	6,420,000	-2,660,000	70.7%
正会員		7,000,000	-1,800,000	855,000	8,800,000	6,145,000	-2,655,000	69.8%
学生会員		180,000	10,000	9,000	170,000	171,000	1,000	100.6%
入会金		100,000	-10,000	-4,000	110,000	104,000	-6,000	94.5%
2. 賛助会員会費		900,000	-140,000	165,000	1,040,000	735,000	-305,000	70.7%
賛助会員		900,000	-140,000	165,000	1,040,000	735,000	-305,000	70.7%
3. 事業収入		5,190,000	4,910,000	2,489,155	280,000	2,700,845	2,420,845	964.6%
研究受託費		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	0	-
全国大会収入		3,430,000	3,430,000	1,279,933	0	2,150,067	2,150,067	-
本部イベント参加費(総会、懇親会費含)		10,000	20,000	4,123	50,000	65,877	15,877	131.8%
委員会イベント参加費(懇親会費含)		60,000						
論文掲載料・査読料		310,000	230,000	95,208	80,000	214,792	134,792	268.5%
会誌等刊行物販売(会誌購読含む)		300,000	200,000	49,891	100,000	250,109	150,109	250.1%
支部収入		30,000	30,000	10,000	0	20,000	20,000	-
広告収入		50,000	0	50,000	50,000	0	-50,000	0.0%
4. 寄付金収入		200,000	-400,000	-400,000	600,000	600,000	0	100.0%
5. 前年度繰越金		6,995,619	156,637	156,637	6,838,982	6,838,982	0	-
6. 雑収入(利息等)		30,000	-20,000	-250,610	50,000	280,610	230,610	561.2%
収入合計		20,595,619	2,706,637	3,020,182	17,888,982	17,575,437	-313,545	98.2%
II 支出の部								
1. 事業費		12,212,269	4,491,269	5,700,792	7,721,000	6,511,477	-1,209,523	84.3%
受託研究事業費		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	0	-
全国大会 事業費		3,930,000	3,430,000	1,604,444	500,000	2,325,556	1,825,556	-
受付システム構築・概要集CDR作成		1,280,000	830,000	833,096	450,000	446,904	-3,096	99.3%
学術 特別研究委員会事業費		1,570,000	150,000	1,033,237	1,420,000	536,763	-883,237	37.8%
国際:英文マガジン		300,000	-200,000	300,000	500,000	0	-500,000	0.0%
オリパラ研究会		100,000	100,000	100,000	0	0	0	-
連続セミナー		200,000	200,000	200,000	0	0	0	-
総務 ホームページ維持管理		100,000	-100,000	87,667	200,000	12,333	-187,667	6.2%
学会変更登記手数料		100,000	70,000	100,000	30,000	0	-30,000	0.0%
総会・理事会運営費(セミナー講師謝礼、資料代等)		130,000	20,000	51,500	110,000	78,500	-31,500	71.4%
新リーフレットの印刷費		150,000	90,000	115,314	60,000	34,686	-25,314	57.8%
論文 査読者謝金、通信、抜き刷り作成等		310,000	60,000	135,000	250,000	175,000	-75,000	70.0%
学会賞 事業費		270,000	220,000	200,802	50,000	69,198	19,198	138.4%
会誌 学会誌Vol.17-No.2、No.3、Vol.18-No.1		1,350,000	-535,000	-365,716	1,885,000	1,715,716	-169,284	91.0%
支部 事業費		1,412,269	362,269	1,004,130	1,050,000	408,139	-641,861	38.9%
JD年会費・入会金		10,000	-90,000	-90,000	100,000	100,000	0	100.0%
震災復興活動支援費		0	-896,000	-296,000	896,000	296,000	-600,000	33.0%
選挙関連費用		0	-220,000	-312,682	220,000	312,682	92,682	142.1%
2. 管理費		5,135,000	155,000	1,292,919	4,980,000	3,842,081	-1,137,919	77.2%
事務局本部人件費		1,500,000	300,000	319,655	1,200,000	1,180,345	-19,655	98.4%
事務委託費		1,795,000	175,000	165,628	1,620,000	1,629,372	9,372	100.6%
備品・消耗品費		60,000	30,000	5,328	30,000	54,672	24,672	182.2%
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)		100,000	-80,000	-2,380	180,000	102,380	-77,620	56.9%
役員等交通費:総会、理事会、幹部会等		1,580,000	-220,000	802,163	1,800,000	777,837	-1,022,163	43.2%
税務処理費		70,000	-30,000	0	100,000	70,000	-30,000	70.0%
事務諸経費(会議費、雑費)		30,000	-20,000	2,525	50,000	27,475	-22,525	55.0%
3. 積立金および積み立て繰入支出		200,000	0	0	200,000	200,000	0	100.0%
4. 予備費		500,000	-700,000	473,740	1,200,000	26,260	-1,173,740	-
当 年 度 支 出 合 計		18,047,269	3,946,269	7,467,451	14,101,000	10,579,818	-3,521,182	75.0%
当 年 度 収 支 差 額		2,548,350	-1,239,632	-4,447,269	3,787,982	6,995,619		
次 年 度 繰 越 金		2,548,350	-1,239,632	-4,447,269	3,787,982	6,995,619		

5. 報告

1) 第18回(平成27年)全国大会(柏大会)の概要

大会長 東京大学 理事・副学長 大和 裕幸

実行委員長 東京大学 教授 鎌田 実

1. 大会概要

千葉県柏市は、東京から約30kmのベッドタウンで、人口約40万人の市です。古くからの団地、新興住宅地のほか、最近ではつくばエクスプレスの沿線での新しいまちづくりもあり、市内に色々な側面をもつ地域から構成されています。特にUR都市再生機構が昭和40年代に開発した団地は再開発の時期を迎えており、その一つの豊四季台団地では、柏市・UR・東京大学が共同して、長寿社会のまちづくりのプロジェクトを約6年前から実施しており、住み慣れた地域で安心して老いること(Aging in Place)の実践の場として有名です。また柏の葉キャンパス駅周辺の新しいまちづくりはUDCKというアーバンデザインセンターが中心となって、産学公民によるまちづくりが行われております。東京大学は柏キャンパスを3極構造の一つと位置づけ、学融合の新しいフロンティアを目指し、社会と連携していくような活動を目指しております。本大会は新領域創成科学研究科の環境棟を主会場として全国大会を開催いたします。

今回は、「長寿社会のまちづくり：すべての人がいきいきと暮らせるまちを目指す」というタイトルとしました。超高齢社会への対応は、高齢者への対応だけでなく、全ての世代が暮らしやすいまちを作ることが重要です。柏での取り組みのほか、学会員が全国各地で取り組んでいる様々な活動の報告がなされる予定です。

2. 主催、後援等

主催：一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会（担当：関東甲信越支部）

後援：柏市、ほか

協力：柏の葉アーバンデザインセンター、東京大学GLAFS、三井不動産、首都圏新都市鉄道

3. 開催日時

2015年8月7日(金) 見学会

2015年8月8日(土) 研究発表会、研究討論会、ポスターセッション、交流会など

2015年8月9日(日) 研究発表会、研究討論会、シンポジウム

4. 開催場所

1)主会場：東京大学柏キャンパス環境棟 柏市柏の葉5-1-5

2)シンポジウム会場：柏の葉カンファレンスセンター（つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅前、三井ガーデンホテル2階）

5. アクセス

つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅より、東武バスで約10分、東大西停留所下車。（JR柏駅からもバス便があります）

6. プログラム（詳細は大会 HP を参照ください）

(1) 見学会等 8月7日（金）

A : 豊四季台地域の長寿社会のまちづくり（10:00-11:30）

B-1 : 国立がん研究センター東病院における障害者雇用（13:50-15:20）

B-2 : 柏の葉地域における健康未来都市のまちづくり（13:30-15:30）

サロン : 東京大学高齢社会総合研究機構の活動等の紹介（13:30-17:00）

(2) 研究発表 8月8日（土）午前・午後、9日（日）午前

(3) ポスターセッション 8月8日（土）11:30-13:30

(4) 研究討論会

1 : 福祉のまちづくりにおける障害者差別解消法の役割と合理的配慮（8日 10:00-12:00）

2 : 当事者の視点を取り入れた施設や製品の開発（8日 13:00-15:00）

3 : オリンピック・パラリンピックの競技場・交通・情報提供の課題と今後（8日 15:30-17:30）

4 : これから的情報提供のニーズとシーズを考える（9日 9:30-11:30）

(5) 特別イベント : JSCAによるシニアシア 8日 17:40-18:00

(6) 学会賞授賞式 8日 18:00-18:15

(7) 交流会 8日 18:20-20:00 参加費 5000円（学生は3000円）

(8) 市民公開シンポジウム 9日 13:30-16:00（市民公開の無料イベント）

内容 秋山浩保柏市長による基調講演とパネル討論

パネル討論登壇者 : 秋山浩保 柏市長

辻 哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

出口 敦 UDCK センター長

松井宏昭 社会福祉法人青葉会 理事長

長澤京子 国立がん研究センター東病院 障害者職業生活相談員

秋山哲男 中央大学研究開発機構 教授

大森宣暉 宇都宮大学大学院工学研究科 教授

司会 : 大方潤一郎 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長

7. 参加登録費

正会員 7000円（8000円）

学生会員 2000円（3000円）

非会員 10000円（10000円）

学生非会員 4000円（4000円）

7/7までの事前登録料金（当日登録料金）

見学会と市民公開シンポジウムは無料です。

8. 大会に関する情報・参加申込み先

<http://www.fukumachi.net/taikai/>

9. 第18回全国大会実行委員会事務局、問い合わせ先

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 鎌田研究室内

277-8563 柏市柏の葉5-1-5 電話 04-7136-4667 FAX 04-7136-4666

問い合わせ : 学会大会ヘルプデスク jais-desk@bunken.co.jp FAX 03-3368-2822

なるべく、メールかFAXでお願いします。

10. 柏大会の予算案

日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会(柏)予算案 【大会収入の部】

項目		単価	数量	金額	合計	備考
収入	参加費	一般正会員	7,000	220	1,540,000	法人会員含む
		一般非会員	10,000	20	200,000	
		学生正会員	2,000	20	40,000	
		学生非会員	3,000	30	90,000	
				290		
				合 計	1,870,000	
	交流会費	一般	5,000	130	650,000	
		学生	3,000	20	60,000	
				合 計	710,000	
	出展・協賛 視察会費	企業協賛金			600,000	
		展示ブース	50,000	5	250,000	
				合 計	850,000	
本部支援費	本部支援費	500,000	1	500,000		
				合 計	500,000	
				収入総合計	3,930,000	

日本福祉のまちづくり学会 第18回全国大会(柏)予算案 【大会支出の部】

項目		単価	数量	金額	合計	備考
支出	会場費	柏の葉カンファレンス	300,000	1	300,000	
		会場費・機材賃料とも	一式		200,000	
				合 計	500,000	
	印刷費	ちらし・ポスター印刷費	80,000	1	80,000	A4版2000枚、A2版300枚
		大会プログラム印刷費	90,000	1	90,000	300冊
				合 計	170,000	
	シンボジウム費	出演者謝金・旅費	200,000	1	200,000	
		会場設営費	60,000	1	60,000	看板製作費、PCレンタル含む
				合 計	260,000	
	研究討論会	発表者謝金・旅費	300,000	1	300,000	
		討論会打合費	50,000	1	50,000	
				合 計	350,000	
	情報保障費	PC要約筆記者派遣費	50,000	1	50,000	9日市民参加イベント
		手話通訳者派遣費	210,000	1	210,000	9日イベント+研究発表対応
				合 計	260,000	
	交流会費	飲食費	710,000	1	710,000	
		演奏演出謝金	60,000	1	60,000	
				合 計	770,000	
	アクセス費等	借り上げバス	150,000	1	150,000	
		謝金	30,000	1	30,000	
				合 計	180,000	
	その他費用	アルバイト人件費	10,000	80	800,000	
		託児所保育士	40,000	2	80,000	8日／9時間、9日／4時間
		通信費	60,000	1	60,000	
		事務用品費	50,000	1	50,000	
		弁当代	800	200	160,000	
		実行委員旅費等	100,000	1	100,000	
		事務局諸経費	90,000	1	90,000	
		業者委託費	100,000	1	100,000	
				合 計	1,440,000	
				支出総合計	3,930,000	

2) 第19回(平成28年)全国大会(函館大会)の概要

日 時 : 平成28(2016)年8月5日(金)～7日(日)
場 所 : 函館市 函館アリーナ(建築中)及び函館市民会館
テー マ : 検討中

6. その他